

CASBEE® 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.4)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)地域共生型福祉施設	階数	地上3F
建設地	京都府与謝郡与謝野町	構造	RC造
用途地域	都市計画区域外	平均居住人員	135 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	病院,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2012年8月 予定	評価の実施日	2011年10月5日
敷地面積	7,610 m ²	作成者	松村 正希
建築面積	3,634 m ²	確認日	2011年10月5日
延床面積	6,915 m ²	確認者	松村 正希

外観パース等
 図を貼り付けるときは
 シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.9

Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.1

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.3

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.3

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.3

LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.4

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合 環境との調和を図る。 高齢者の住宅として、プライバシーに配慮した平面計画。 地域との交流を促す広場を計画。	その他 深夜電力を利用した電気ヒートポンプ式給湯器、電気蓄熱式床暖房を使用し、電力のピークシフトに寄与し二酸化炭素の削減につながる。	
Q1 室内環境 空調機器の個別制御 化学汚染物質による影響の削減 各居室に掃きだし窓を設置	Q2 サービス性能 「住宅」をコンセプトに内装材に木材を多用 廃棄物置場と動線を確保 耐久性の高い配管材料を使用	Q3 室外環境(敷地内) 地域に開放された広場とデッキテラスを設置
LR1 エネルギー 全電化 各部門毎にメーターを設置して用途別のエネルギー利用を把握	LR2 資源・マテリアル リサイクル材料の使用 部材の再利用可能性向上の取り組み	LR3 敷地外環境 全電化により、燃焼器具を使用しない 地域用の自転車置場を確保

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される